



山梨大学グローバルCOEプログラム
アジア域での流域総合水管理研究教育の展開

Global COE Program

Evolution of Research and Education on Integrated River Basin Management in Asian Region

国際シンポジウム 流域研究の国際アカデミックハブ“UY-GCOE”

日時：2010年11月29日（月）～11月30日（火）

会場：山梨大学情報メディア館 5F 多目的ホール

（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）

プログラム

11月29日（月）9:30-18:00

- ・開会式
- ・セッション1「次世代に向けた効果的な技術移転」
- ・セッション2「国際共同研究の過去・現在・未来」
- ・ポスターセッション

11月30日（火）9:00-17:30

- ・セッション3「流域問題における市民と大学の協働」
- ・セッション4「留学生から見た UY-GCOE の教育」
- ・分科会
- ・分科会報告＋総合討論

【お問い合わせ】 〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11

山梨大学大学院医学工学総合研究部附属 国際流域環境研究センター内

山梨大学グローバル COE 国際シンポジウム実行委員会

TEL：055-220-8603/FAX：055-253-4915

E-mail：coe@yamanashi.ac.jp

<http://www.gcoe.yamanashi.ac.jp/>

ごあいさつ

山梨大学グローバル COE プログラム「アジア域での流域総合水管理研究教育の展開」では、2008 年のプログラム採択以降、水と水質に関わる最先端の科学技術を実地での流域風土に適合させるための研究・教育を通じて、アジア域で生じる水に起因する災害・健康被害の諸問題を総合的に解決できる人材の育成に取り組んできました。その結果、先端気象レーダーによる降水解析、安定同位体測定技術を用いた水・物質循環過程の解明、病原微生物の遺伝子解析、水工学と疫学との融合的研究、発展途上国の実情にあった水処理システムの開発など、各専門分野において先進的な研究成果をあげるとともに、「博士課程国際流域総合水管理特別コース」「バーチャルアカデミー」などの教育プログラムや「海外協同センター」の設置や共同研究などを通じて、総合的な流域管理を実現するための水の専門家による国際的ネットワークの形成に努めてきました。

しかし、本グローバル COE の成果を、地域の水問題解決に向けて、より効果的に利用するためには、国際

連携のネットワークをさらに強化、拡張しながら、1)次世代に向けた効果的な技術移転の方法、2)研究成果の社会への還元を意識した国際共同研究のあり方、3)市民と科学技術とを繋ぐ大学、NGO の役割などについても考えていく必要があります。

今回のシンポジウムでは、国内外の皆様へ過去 2 年間の拠点形成事業の成果を紹介しながら、本グローバル COE が、国際的な流域水問題の解決のために、研究者、水管理者、市民を繋ぐ「アカデミックハブ」となるための検討項目や課題について、皆様と一緒に議論する機会にしたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

山梨大学グローバル COE プログラム

アジア域での流域総合水管理研究教育の展開

拠点リーダー 砂田憲吾



アクセス

◆JR 甲府駅まで

電車利用

- ・新宿/松本方面から: JR 中央線にて「甲府駅」下車
- ・静岡方面から: JR 身延線にて「甲府駅」下車

高速バス利用

- ・新宿駅西口 新宿高速バスターミナルより、新宿～甲府線乗車「甲府駅」下車

◆JR 甲府駅から山梨大学甲府キャンパスへ

JR 中央線 甲府駅北口下車

- ・徒歩 15～20 分
- ・タクシー 約 3 分
- ・バス 約 5 分 (甲府駅北口から「武田神社」又は「積翠寺行」乗車、「山梨大学」下車)

◆甲府キャンパス

